

## 提案書評価基準

### 【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「4 横浜版伴走型生成 AI の開発」、「6 横浜版伴走型生成 AI から得られるデータの提供及び活用に関する提案」に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員の評価の合計点の平均が 192 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数					重要度	配点
<b>1 全体を通した評価事項</b>								
業務目的、業務内容を理解しているか。提案者が所有する既存の伴走型生成 AI プロダクト（以下、「自社伴走型生成 AI」）のアップデートに留まらず、本市とともに本市だからこそ実現可能な横浜版伴走型生成 AI を開発する意欲があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20
実施方針及び実施手法に妥当性・実現性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30
<b>2 提案者について</b>								
<b>(1) ワークライフバランスに関する取組</b>								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス企業認定の取得	5:2つ以上有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5
<b>(2) 障害者雇用に関する取組</b>								
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成状況に応じて評価。 ・達成している（従業員 40.0 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40.0 人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5
<b>(3) 健康経営に関する取組</b>								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得 又は ②横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	5:2つ有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5

3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
業務の遂行に十分な従事者が割り当てられているか。(プロジェクトマネージャーの専任配置など)	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校において自社伴走型生成 AI を提供した実績が1校以上あるか。ある場合、本業務に有益な結果、評価を得ているか。 (※実績あり→「1 or 3 or 5」、実績が無い場合「1」)	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×2	10	
(3)事業管理									
進捗管理、リスク管理(個人情報漏えい等の対策やコンプライアンス対策)の計画・体制について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
4 横浜版伴走型生成 AI の開発									
提案者が提供する既存の伴走型生成 AI サービスは、教科の学習内容に関する理解や思考・表現を支援するための機能を有し、学習支援に資するものとなっているか。 (必須となる対象校種・教科) 小学校：国語、算数、理科、社会 中学校：国語、数学、理科、社会	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×5	25	
本市の教育方針や所有する教育データの活用、各種システム・コンテンツとの連携、ふるまい設定等に関する企画等の提案について、本市独自の特徴を有する伴走型生成 AI となりうるものとなっているか。また、本格開発を見据えた実現性はあるか。 ※本市が導入予定の AI ドリルとの連携に向けた提案は必須事項	5:特に優れている 3:普通 1:特に劣っている	5	-	3	-	1	×5	25	
提案者が提供する既存の伴走型生成 AI サービスについて、子ども自らの興味・関心に合わせた主体的な学びを支援するため、総合的な学習の時間などを中心とした探究的な学びを支援するための機能を有しているか。	5:特に優れている 3:普通 1:特に劣っている	5	-	3	-	1	×5	25	
提案者が提供する既存の伴走型生成 AI サービスについて、ユーザーインターフェースや各種機能等のサービスは、児童生徒と教職員にとって使いやすいものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	
機能要件に対応しているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×5	25	

5 モデル校における試行運用及びサポートについて									
モデル校において、横浜版伴走型生成 AI が円滑に運用・活用されるようサポートが充実しているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
試行運用における成果指標を設定しその検証を適切に行うことができるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
横浜版伴走型生成 AI の活用が十分に進んでいない場合の支援の取組について、具体的な計画が見られるか。また、児童生徒・教職員の利便性を高めるための考えや工夫等が提案されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
児童生徒・教職員の利便性を高めるための考えや工夫等が提案されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
6 横浜版伴走型生成 AI から得られるデータの活用に関する提案									
横浜版伴走型生成 AI から得られるデータの活用に関する提案について、構想・展望に有益性、妥当性、実現性はあるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×5	25	
横浜版伴走型生成 AI から得られるデータの活用の展望について、ベンチマークやエビデンスに基づいているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×2	10	
7 横浜版伴走型生成 AI 試行運用に関する報告書の作成及び次年度受託業者への引継(データを含む。)									
来年度、横浜版伴走型生成 AI の本格開発が行われることを想定し、別の事業者が受託した場合のスムーズな引継計画(データ含む。)について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10	

満点 320